市民1000人に聞く

障害者福祉に高い関心

第10回 市政世論調査結果

調査方式

調査対象　新潟市に居住する満二十歳以上の男女千人
抽出方法　住民基本台帳から層化無作為抽出
調査方法　調査員による面接調査
調査期間　九月二十六日～十月十一日
回収数　八百八十九人（男四百二十七人、女四百六十二人）、八八・九%

なお、文中で（M・A）とあるのは、複数回答を求めたものです。

市民の6割は"老後に不安"を持っています
（今年の市老人スポーツ大会から）

〈老後〉子供との同居を望む

1 老人問題

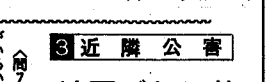
不安は健康と生活費

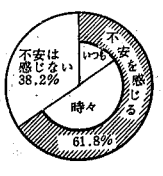
市民の六割が、自分の老後について不安を感じています。性別では、男五七・一%に対し、女六六・〇%で、女性の方が不安を感じているようです。年代別では、五十歳代が七二・三%と高率です。

●それはどんなことですか。（M・A）

○健康のこと　七一・二%
○生活費のこと　四五・七%
○配偶者に先だたれること　二六・二%
○世話をしてくれる人のこと　二四・二%
○暮らし方についてどのように考えていますか。あなたの考えに一番近いものを一つだけ選んでください。

核家族化が進み、"親子の断絶"などと言われている中で、七割の市民は、子供や孫と一緒に暮らしたいと考えています。また、女性（六七・七%）より男性（七三・八%）の方が、それを望んでいます。





○六十歳〃　二九・八%
○七十歳〃　二七・二%

〈問2〉あなたは、ご自分の老後の生活について不安を感じることがありますか。

○ある　七七・二%
○ない　二二・八%

「ある」と答えた人は、「工場・商店などからの悪臭」、「川やみぞなどの悪臭」、「工場・商店などからの煙」をあげています。地区別では、西地区で「稲ワラ焼きの煙」がトップになっています。

〈問9〉迷惑を受けたとき、相手の方に、苦情を言うなど何か対応しましたか。

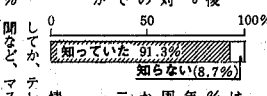
「何もしなかった」が八四・五%で、何らかの対応をした市民はわずかでした。

〈問10〉近隣公害をなくすためには、どのような方法がいちばん良いと思いますか。

問題解決の最善策は、全体の六二・六%が「隣り近所とのコミュニケーションを図ること」をあげています。

2 障害者福祉

国際障害者年「知らない」7.8%
何かしたい10人に7人

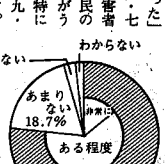


〈問4〉あなたは、今年が国際障害者年であることを知っていましたか。また、それを何から知りましたか。

「知らなかった」は、わずか八・七%で、国際障害者年に対する市民の周知度の高さがうかがえます。特に二十歳代は九九・一%と高率です。

知った理由は、情報化時代を反映してか、テレビ・ラジオ・新聞など、マスコミによって知った人が、九五・八%を占めています。

〈問5〉あなたは心身に障害のある人たちへの福祉についてどの程度関心をお持ちですか。



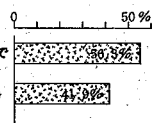
全体の八割が「関心を持っている」と答え、年代が高くなるにつれ、関心の度合が高くなっています。

そのキッカケは、「新聞やテレビの報道から」が七割を占め、以下「肉親、「市報にいがた」と続きます。

〈問6〉あなたは心身に障害のある人たちのために、何が役立つことをしたいと思いますか。（M・A）

「何かしたい」と答えた人は、高率の七一・九%で、その内容は次表のとおりです。

しかし、年代別では、国際障害者年をいちばん良く知っている二十歳代が消極的で、最低の六五・七%を示しています。



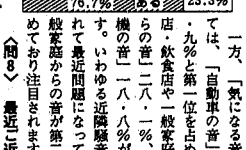
3 近隣公害

地区ごとに差
―問題解決は近所とのコミュニケーションで―

〈問7〉最近騒音問題がいろいろと話題になっていますが、あなたはふだん家の中にいる時に気になる音がありますか。

○ある　四一・三%
○ない　五八・七%

市民の四割が「気になる音がある」と答えていますが、地区により大きな差があります。北地区、中地区では約七割が「ある」と答え、反対に西地区・坂井輪地区では「ない」が七割を占めています。



「一方、「気になる音」としては、「自動車の音」が五九・九%と第一位を占め、「商店・飲食店や一般家庭などからの音」二八・一%、「飛行機の音」二八・八%が続きます。いわゆる近隣騒音といわれて最近問題になっている一般家庭からの音が第二位を占めており注目されます。

〈問8〉最近二近所からの悪臭や煙などで迷惑を受けたことがありますか。

○ある　二二・八%
○ない　七七・二%

「ある」と答えた人は、「工場・商店などからの悪臭」、「川やみぞなどの悪臭」、「工場・商店などからの煙」をあげています。地区別では、西地区で「稲ワラ焼きの煙」がトップになっています。

〈問9〉迷惑を受けたとき、相手の方に、苦情を言うなど何か対応しましたか。

「何もしなかった」が八四・五%で、何らかの対応をした市民はわずかでした。

〈問10〉近隣公害をなくすためには、どのような方法がいちばん良いと思いますか。

問題解決の最善策は、全体の六二・六%が「隣り近所とのコミュニケーションを図ること」をあげています。

4 余暇利用

「白山公園へ出かけた」トップ
自然を生かした公園を待望

〈問11〉あなたは、この一年間に休日や余暇を利用して、市内のどこかへお出かけになったことがありますか。（M・A）

市民の憩いの場としては、各地区とも「白山公園」、「海水浴場」が上位で、広く市民に愛されているといえます。

○白山公園　四一・六%
○海水浴場　三八・七%
○水族館　二二・七%
○鳥屋野潟　二二・一%
○西海岸公園　二〇・八%
○水道遊園　一八・一%
○阿賀野川公園　一六・二%

以下、鳥屋野交通公園、園芸センター、じゅんさい池公園、日本海タワーと続きます。

〈問12〉近郊へはお出かけになったことがありますか。

「どこへも出かけたことがない」と答えた人が二九・七%いました。

一方、利用度の多いところは、「水原の瓢湖」、「安田アイランド」、「月岡動物園」などが上位を占めています。

〈問13〉休日など余暇を楽しく過ごすために、今後市内に整備してほしい施設を、一つだけ選んでください。

○自然を生かした大きな公園　四一・六%
○家族で気軽に利用できるスポーツ施設　二二・三%
○植物園　一〇・一%

5 新庁舎建設計画

〈問14〉この一年間に、あなたは市役所（本庁舎）に何回ぐらい行かれましたか。

「行ったことがある」人は約半数の四九・六%、そのうち、六三・九%が市民課を訪れ、以下、市民税課、資産税課、納税課の税務関係が上位を占めています。

●市役所へ行ったとき、不便さを感じたことをあげてください。（M・A）

近年の車社会を反映してか「駐車場や自転車置場が少ない」と感じた人が、三二・七%と最高であり、庁舎そのものについては、「通路が狭い暗い」、「わかりずらい」、「市民がくつろげる場所が少ない」と感じています。

〈問15〉現在市では新庁舎の建設計画が進められています。より親しみやすい庁舎とするため、市民が気軽に利用できる施設として、あなたが最も望むものは何ですか。

市民の希望は、喫茶室、談話室、紹介コーナーなどに分散しています。

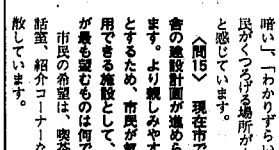
6 市政についての希望

1位　社会福祉
2位　公園緑化
3位　学校教育

しかし、その差はわずか

〈問16〉市政の中で、あなたが特に力を入れてほしいと希望するものを三つ選んでください。

この質問は、毎回市政世論調査で行なっています。先回の五十四年度は、第一位「公園緑化」、第二位「社会福祉」でしたが、今回は順位が入れ替わりました。しかし数値はほとんど差がなく、総体的に見ると、市政各分野に対する希望度は、前回以上にますます平均化されてきています。



ママへの準備教室

内容　赤ちゃんの衣類の選び方、オムツの作り方、おふろの入れ方（実習）
持参品　母子手帳、エプロン、タオル
申し込み　電話で希望会場へ（東保健所は都合のよい日を選んで）

〈東保健所会場〉
日時　1月14・29日午後1時半～3時半
対象　57年5・6月分娩予定の初産婦各20人

〈石山地区保健センター会場〉
日時　1月5日午後1時半～3時半
対象　57年5・6月分娩予定の初産婦15人

第1回グリーンプラザギャラリー 使用者合同展

期間　12月22日～27日
会場　東北電力グリーンプラザ

安産教室（2回で1コース）

内容　1回目…映画、安産体操、妊娠による身体の変化について　2回目…お産についての知識・リハーサル、家族計画、グループディスカッションなどをする
持参品　母子手帳、体操のできる服装
対象　57年4・5月分娩予定の初産婦先着30人
申し込み　電話で希望会場へ（2回目は来所時に予約）

〈東保健所会場〉
日時　1月6日午前9時半～11時半

〈鳥屋野地区保健センター会場〉
日時　1月26日午後1時半～3時半

保健婦による健康相談

月日	対象校区	会場	時間
12・23	石山	石山地区保健センター	午後1時半～3時
12・24	中野小屋	笠木公民館	午後1時～3時
12・25	大江山	大江山農村環境改善センター	午前10時～正午 午後1時～3時

※石山地区、大江山地区の午後は医師による相談

育児学級

日時　12月23日午後1時半～
会場　木戸公民館
対象　木戸、牡丹山、竹尾校区在住で56年4・5月生まれの第一子をお持ちの方
持参品　母子手帳
問い合わせ　東保健所へ

幼児のフッ素塗布

対象　1歳半～4歳未満児
持参品　母子手帳、タオル、料金500円
申し込み　電話で各会場へ

月日	会場	時間	定員
1月11・18・25日	東保健所	午前9時半～10時半	各40人
1月5日	鳥屋野地区保健センター		
1月6日	北地区保健センター		
1月27日	石山地区保健センター		

※2回目以降の予約の方はフッ素番号をお知らせください

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎41－4111
西保健所	☎66－5171
石山地区保健センター	☎86－4450
鳥屋野地区保健センター	☎85－2373
北地区保健センター	☎59－7332
西地区保健センター	☎62－3405
坂井輪地区保健センター	☎60－3255

離乳食講習会

対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品　母子手帳

〈東保健所会場〉
日時　12月23日午後1時～3時半

〈西保健所会場〉
日時　12月24日午前10時～午後零時半

〈坂井輪地区公民館会場〉
日時　12月22日午後1時15分～3時半

申し込み　電話で坂井輪地区保健センターへ